

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2023年2月10日

事業所名 ほがらかファミリー菟野

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		・子どもの発達段階や活動内容に応じて、職員の配置数を変える工夫をしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		・安全面については考慮しているが、子どもたちが日常生活の中での体の動かし方をおぼえるために、すべてがバリアフリー化しているわけではない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・定期的に行う会議で、ねらいや目的を明確にし、課題や改善点を確認し、次につなげている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・現時点では、外部評価を行なう必要性がない。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・必要と思われる研修を紹介し、希望者を募ったり、勧めたりしている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・使いやすさを考慮したオリジナルのものを作成して使っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・メンバーや人数、子どもの発達段階を踏まえ、スタッフ間でアイデアを出し合って、立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・メンバーや人数、子どもの発達段階に応じて、活動内容を変えている。	
	13	平日、休日に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・平日・休日・長期休暇などに応じて、水遊び等季節に合わせた活動や、畑活動、戸外活動などバラエティーに富んだ活動を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで放課後等デイサービス計画を作成している	○		・集団活動の場合、それぞれの子どもの特徴を考慮し、組み合わせを考えている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・前日、もしくは当日に必ず担当職員同士で打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・当日または翌日に担当職員が振り返りを行い、スタッフ間でも共有するようにしている。また、雑談の中でも、支援のことが話題にあがる。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・担当職員が、記録をまとめる時間を設け、日々の振り返りをしている。 ・メイン担当とは別に記録係を設けている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・児童発達支援管理責任者以外に、モニタリングを担当するスタッフを置き、複数の目で判断している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	○				
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者が出席している。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21		○		・現在、医療的ケア児は通所していないが、医療機関に行った際には、極力、保護者からその時の様子を聞くようにしている。
	22	○		・同系列の児童発達支援事業所の職員が出席する保育園や幼稚園との情報共有の場に、一緒に参加するようにしている。 ・同系列の児童発達支援事業所の職員同士で、日頃から情報共有を密にしたり、年度末には、引継ぎを行っている。	
	23		○		・まだ、該当する利用者がいない。
	24		○		・情報交換会や研修には、極力参加しているが、連携まではいっていない。
	25		○		・事業所のイベントで、他の子の兄弟たちと触れ合う機会を設けている。
	26	○		・要望や必要に応じて、個別に保護者との相談時間を取り、共通理解が持てるように努めている。	
	27	○		・電話や対面で、事業所内保護者支援を行っている。	
保護者への説明責任等	28	○			
	29	○			
	30	○		・事業所のイベントを通じて保護者同士が交流できる機会を設けている。 ・同じような悩みを持った保護者や同学区の保護者同士の繋がりを仲立ちしている。	・ただし、感染症予防のためイベントを縮小、交流の機会が減った。
	31	○		・児童発達支援管理責任者、場合によっては管理者が即、対応にあたっている。	
	32	○		・毎月1回、会報を発行している。 ・週に1回程度、メールでの通信を配信している。	
	33	○		・写真、氏名の取り扱いについて、同意書を得ている。	
	34	○		・場合によっては、視覚支援を取り入れている。	
35	○		・事業所のイベントでは、地域の協力者を招待している。		
非常時等の対応	36	○		・指針を作成し、定期的に研修と会議を行っている。	・保護者への周知が行き渡っていないところがあるので、通信等で定期的に知らせる必要性を感じている。
	37	○		・年2回、3月と9月に日を決めて行っている。	
	38		○		・食事は提供していないので、対応はしていないが、情報としては把握している。